

# 縄文プロジェクト 目的

この法人は、自然と共生した縄文文化の知恵とエナジーを学び伝え、それを現代の生活に生かすことにより、豊かな文化の発展と青少年の健全育成に資することを目的とする。

- 種類 (1)子どもの健全育成 (2)社会教育の推進  
(3)まちづくりの推進 (4)文化芸術の振興  
(5)国際協力の推進

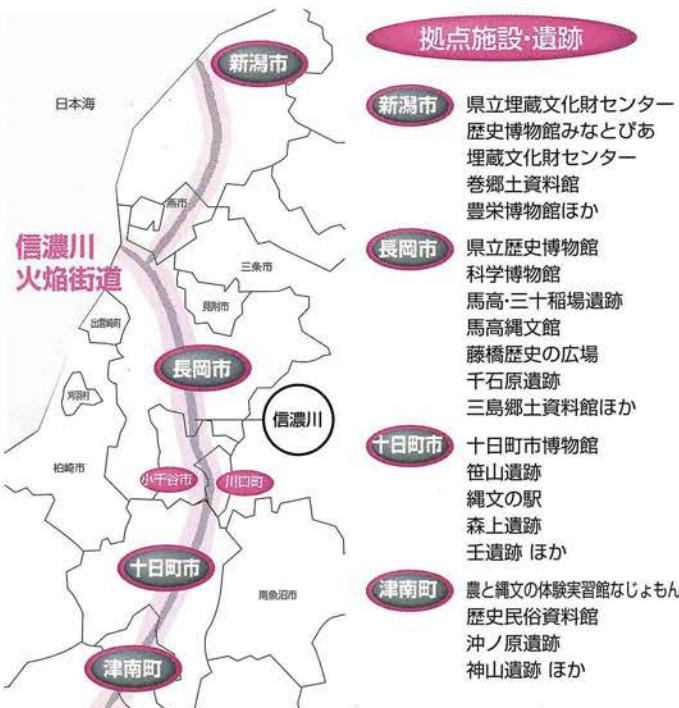
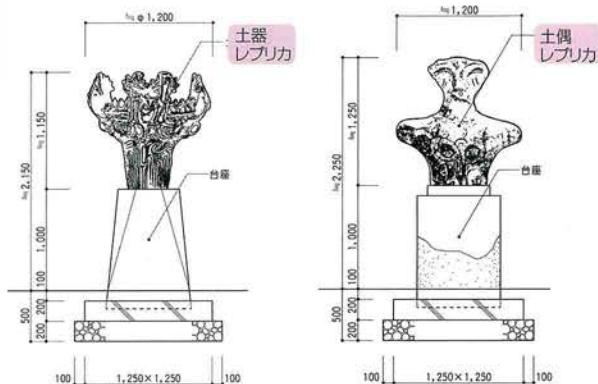
- 事業 (1)縄文研究の推進と情報発信  
(2)縄文モニュメントの継続設置並びに維持管理  
(3)関係団体との連携による文化活動の推進事業

## 新潟県長岡地域での取り組みの一例

### 縄文モニュメントの設置

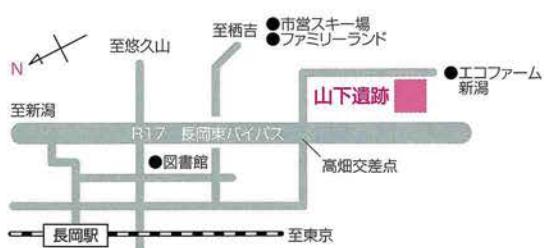
#### ～信濃川火焰街道支援事業～

信濃川中流域を中心とした市町村がそれぞれの特徴を生かしつつ、土器や土偶など縄文をイメージした意匠を凝らしたモニュメントをルートに沿って設置することにより、地域ネットワークを強固にし、地域振興の一助としたい。



### 縄文の源流をさぐる

#### ～山下遺跡の発掘調査～



世界的に高く評価される火焰土器は、長岡市の関原町馬高遺跡で発見されました。

自然と共生した縄文文化の知恵を象徴する存在といえます。この火焰土器の源流を求めて、長岡市柿町の山下遺跡の発掘調査を実施しています。

#### 縄文との対話

火焰土器の生み出された縄文とは、どのような時代だったのでしょうか。発掘調査は土器や石器を掘り出す作業ではありません。地面に埋もれた縄文と対話するための具体的な手段です。土器や石器などの埋もれている様子を観察し、縄文の自然環境を復元する手がかりを詳細に記録しながら掘り進め、それらを分析する科学的な行為なのです。

この科学的行為を通して、縄文との対話が初めて成立します。

#### 現代に生きる

発掘調査はひとりの力ではできません。地面を掘りかえことにはじまる調査には、資金や労力などで多くの人々の協力と参加が不可欠です。火焰土器に代表される越後縄文を縁として、発掘調査という共同作業を実現します。

かつて同じ土地に暮らした縄文人の残した遺跡は、未来の私たちの姿でもあります。発掘調査を通して、現代に生きる私たちの足元を見つめ直していきましょう。

<事務局> NPO法人 ジョーモネスクジャパン

〒940-0065 新潟県長岡市坂之上町2-1-1 長岡商工会議所内  
TEL 0258-32-4500 FAX 0258-34-4500

## 参考

### 縄文モニュメント銘板の表記(文字サイズ)について

10,000円 未 満 縄文太郎

10,000円 コース 縄文 太郎・花子

30,000円 コース 長岡悠久会

50,000円 コース 岡本 次郎

100,000円 以 上 縄文屋

※上記見本の書体・文字サイズはあくまで目安です。

### 縄文モニュメント寄附の申し込み《例》について

- ① 個人でのお申し込み
- ② 団体でのお申し込み(同窓会・同級会・町内会・有志・仲間)
- ③ 家族単位、または連名で
- ④ 各企業等の記念事業として
- ⑤ 還暦・古希・誕生・結婚記念等のお祝いに
- ⑥ その他

※銘板の表記は、団体名・個人名等自由です。

但し、キャッチフレーズや屋号等は表記出来ません。